

萩市

こども計画



令和7年3月
萩市

1 計画策定に当たって

計画策定の背景と趣旨

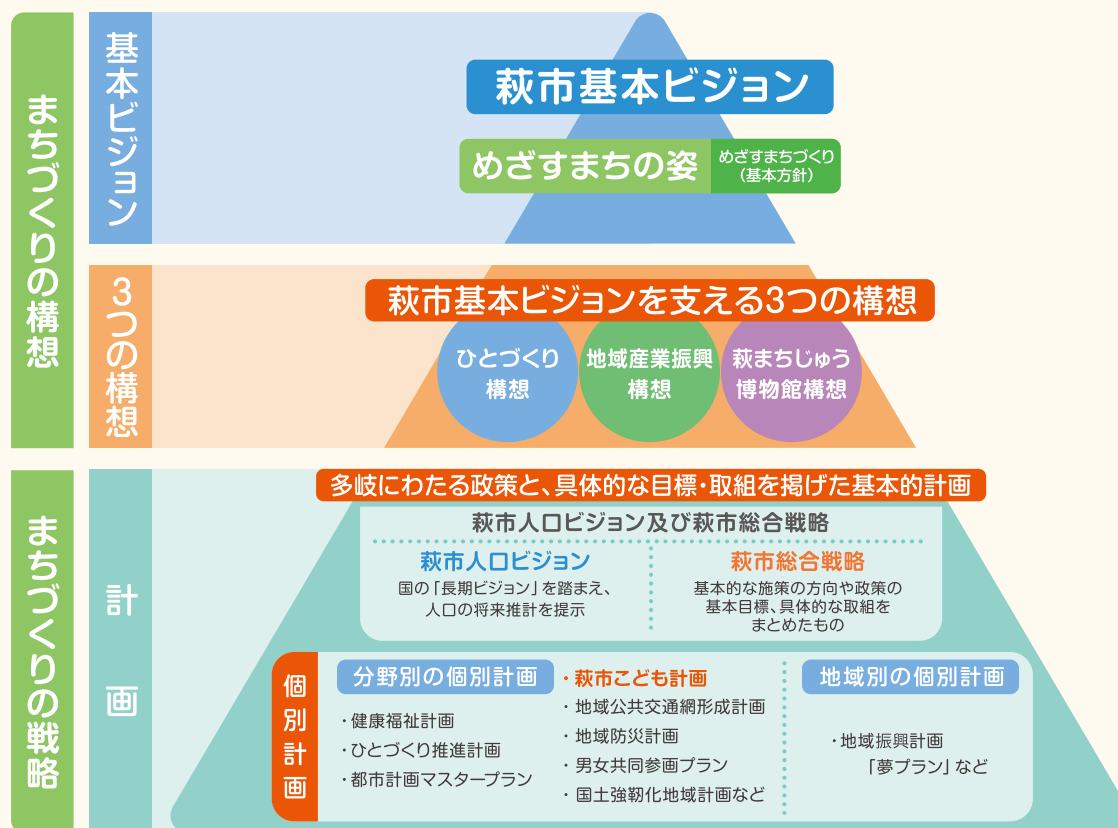
本市では、「第2期 萩市子ども・子育て支援事業計画」において「子どもの幸せな成長を家庭や地域で育み、子育ての幸せが実感できるまち」を基本理念とし、こどもや子育て世帯の支援のために必要な施策に取り組んできました。

この第2期計画が令和6年度に計画の最終年度を迎えることから、「第2期計画」の取組状況等を踏まえるとともに、こども・子育て支援の取組を更に効果的かつ総合的に推進するため、「第3期萩市子ども・子育て支援事業計画」を内包する萩市こども計画を策定します。

計画の性格と位置づけ

本計画は、市町村こども計画として位置づけます。また、本計画は「萩市基本ビジョン」における個別計画であり、本市の福祉の基本的計画である「萩市健康福祉計画」や部門別の福祉計画、市の関連計画との連携・整合性を図ったものとしています。

また、本計画は、「萩市基本ビジョン」における個別計画として位置づけられるものです。



計画の期間

令和7年度から令和11年度までの5か年を「萩市こども計画」の期間として進めていきます。

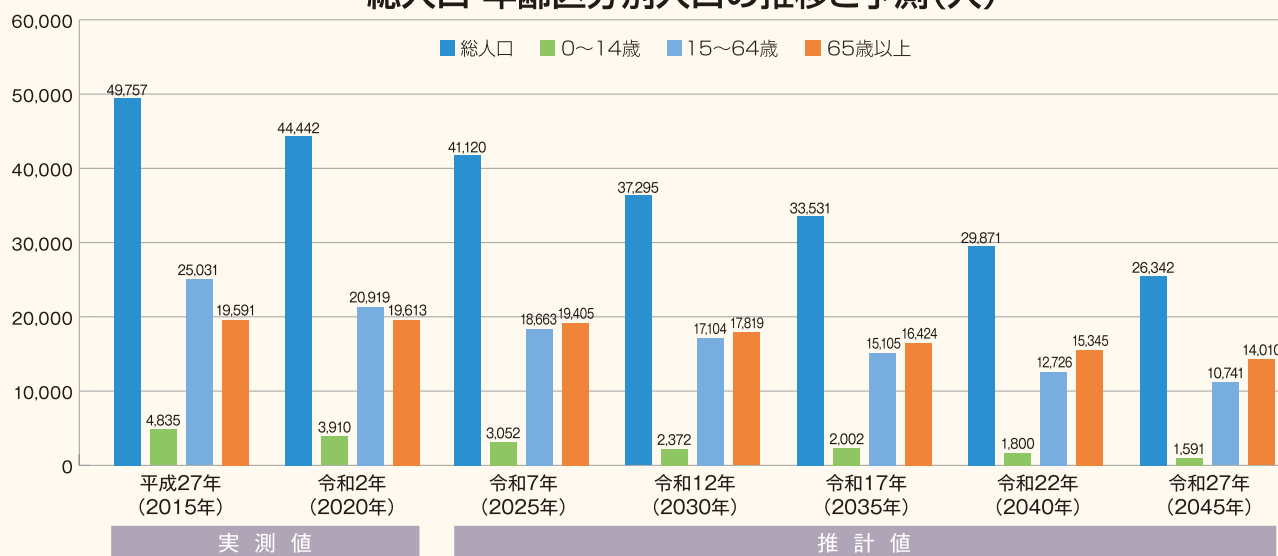
2 萩市の現状と課題

萩市のこども・子育てを取り巻く状況

総人口・年齢区分別人口の推移と予測

全国的に人口が減少する中、本市においても総人口の減少が続いており、少子高齢化が進行しています。今後は、高齢者人口も減少していくことから、減少が続くと予測されます。

総人口・年齢区分別人口の推移と予測(人)

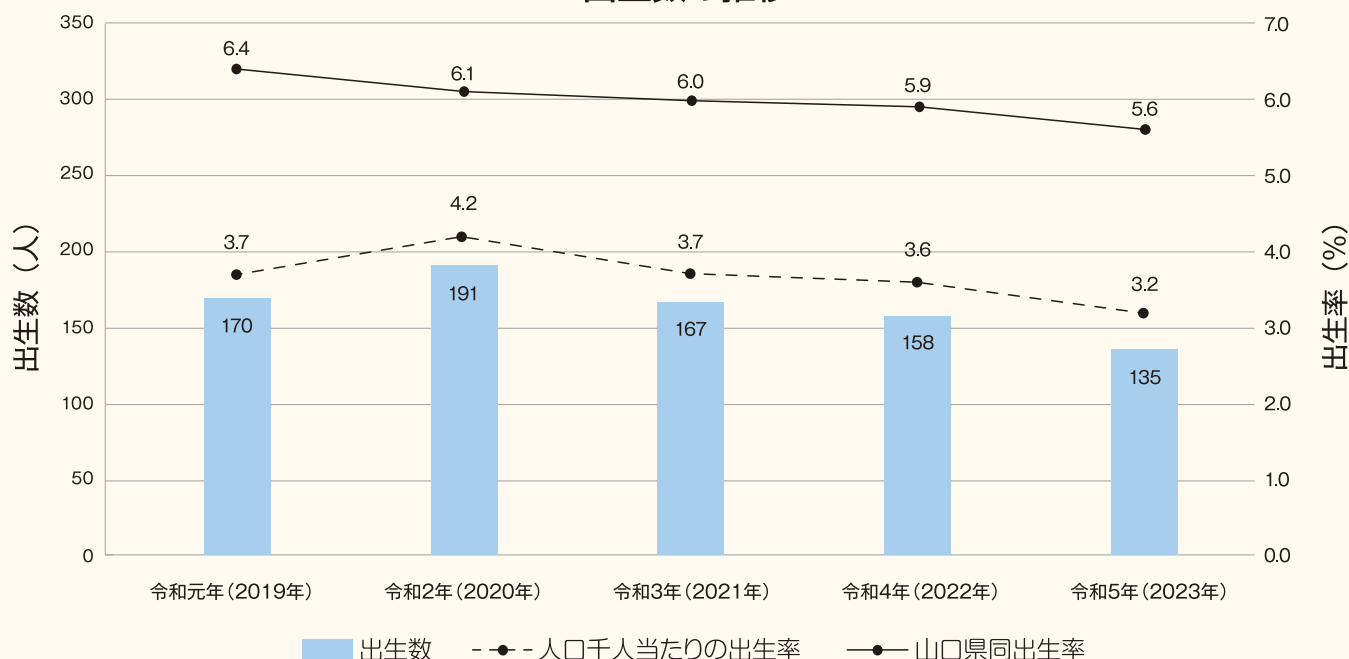


資料：令和2年度までは国勢調査（年齢不詳人口は除く）、令和7年度以降は萩市健康福祉計画を基に推計

出生数の推移

出生数は令和元年から令和2年には増加したもののそれ以降は減少傾向にあります。

出生数の推移



資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（総務省）

基本目標と課題

第2期計画からのアンケート調査から見える萩市の現状を踏まえて、課題を整理しました。

基本目標 1 《 こどもの生きる力と豊かなこころを育てる 》

課題等

- ・萩市こども家庭センターHAGU等、相談する場所があることを知ってもらい、相談しやすい場所として、一人で悩むことのないよう周知が必要です。
- ・多様化する保育ニーズに的確に対応し、継続的・安定的に保育サービスを提供し続けるため、市内保育所の役割を改めて整理するとともに、老朽化の進む施設の更新に併せて、効率的・効果的に施策を推進する必要があります。
- ・こどもの権利について、その内容まで認知してもらえるよう、さらなる周知啓発が必要です。

基本目標 2 《 利用しやすいサービスで子育て家庭をサポート 》

課題等

- ・こどもの発達や成長に最も影響を与える家庭において、こどもの育ちをしっかりと支えていけるよう、子育て支援センターや児童館等といった地域との連携も更に深め、子育てに関する制度等の周知、こどもや保護者への支援が必要です。
- ・配慮を要するこどもについては、早期発見と的確な対応が求められます。本市では、これまでも萩市こども家庭センターHAGUや、乳児健診や3歳児健診の機会等で早期発見や相談業務に力を入れてきました。
- 令和7年1月1日に、子育て世代包括支援センターと家庭児童相談室の機能を併せ持つ「萩市こども家庭センターHAGU」を設置しましたが、児童福祉、母子福祉の一体的な支援、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を行うための体制の充実と関係機関等との連携の強化を図ります。
- ・ひきこもりや不登校等、社会生活に困難を有するこどもについて、社会全体の理解を深め、相談支援や社会参加支援、居場所づくりなどを通じて、温かく受け入れる環境づくり等を検討する必要があります。
- ・ヤングケアラーについては、こども本人や家族に自覚がない場合もあり、顕在化しづらいことから、ヤングケアラーについての理解が進むよう、こどもや保護者を対象とした周知、啓発とともに、学校をはじめ、介護、福祉、医療といった分野とも連携し、早期発見・把握する必要があります。



基本目標 3 《 子育てと仕事の両立しやすい環境づくりの推進 》

課題等

- ・保育ニーズの多様化に対応するため、公立保育園の在り方の検討と併せ、既存の預かり保育等の運営内容の充実を図りながら、より一層質の高い就学前教育の提供に努める必要があります。
- ・ファミリー・サポート・センター事業では、提供会員の不足等、人材確保に関する課題が見られます。より幅広いニーズに対応できるよう取り組む必要があります。
- ・放課後児童支援員の確保や質の向上に向けた方策を併せて進める必要があります。
- ・就業環境の確保に向けた、企業への働きかけはニーズの高い取組であり、今後も引き続き、子育てと仕事の両立が可能な環境づくりの啓発・推進が重要であり、より効果的な方法についての検討が必要です。



基本目標 4 《 家庭と地域の子育て力をアップ 》

課題等

- ・核家族化の進行や地域社会の人間関係の希薄化等により、家族や地域から十分な支援を得難い状況があり、子育て家庭を地域で支える仕組みづくりを進める必要があります。
- ・学校、家庭、地域が協働し、様々な取組を推進していますが、事業に携わっていただく地域の方の固定化や高齢化に対し、より効果的な発信方法や協力体制の確保が求められます。

基本目標 5 《 安心して子育てができる環境づくり 》

課題等

- ・小児救急医療電話相談や育児・病気相談に24時間365日使える「萩・阿武健康ダイヤル24」の存在や利用方法を広く知らせる等の啓発に努めます。
- ・こどもたちにもインターネットの利便性と危険性の理解を促し、正しく利用する能力が必要とすることをあらかじめ伝えることが大切です。加えて、重要な情報を外部に漏らさないといった、倫理面も含めたICT教育を活用して、各学校の教育活動の質の向上を図ります。

4 基本的な考え方

基本理念

こどもの健やかな育ちと子育ての幸せを実感できるまち

こどもの幸せは家族の幸せであり、地域の幸せです。こどもを市民みんなの宝として、地域全体で支え合っています。

基本的な視点

本計画では、第1期計画・第2期計画を踏まえ、基本的な視点として次の3つを定めて施策の展開を図っていきます。

3つの視点

地域全体で子育てを支える視点

育ての基本である家庭を支える視点

こどもの幸せな成長を支える視点

5 施策の展開

基本目標と基本施策

基本目標 1 《 こどもの権利を尊重し、健やかな成長を支える取組 》

基本施策	事業
① こどもの権利を大切にする取組	・ こども相談支援室等による相談活動 ・ こどもの権利に係る周知・啓発 ・ 萩市こども家庭センターHAGUによる相談活動 ・ こどもの企画や参画による活動の場づくり ・ 専門的な支援を行うための人材の確保と育成 ・ 主任児童委員及び児童委員による相談活動 ・ 子ども情報誌「あ・そ・ぼ」の活用 ・ 地域間のこどもの交流ができる機会づくり ・ こどもリーダーの育成と活躍の場づくり
② 幼児期の教育・保育環境の充実	・ 正確なニーズ情報収集とサービス内容の周知徹底 ・ 教育・保育ニーズを満たす施設の整備 ・ 保育士等の確保
③ 学校教育の充実	・ プログラミング教育や海外語学研修等の実施 ・ 市内各施設を活用したふるさと教育 ・ 地域学習・職場体験活動 ・ 家庭、学校及びスクールカウンセラー等関係機関の連携 ・ 地域性等、特性を生かした学校づくりへの支援 ・ 各種教育に関する情報交換等 ・ 正しい知識の普及と健全な意識の醸成 ・ 各種出前学習の実施
④ いじめ防止等、心のケアの充実	・ いじめ防止のための教育・取組の推進 ・ いじめの解消のための取組の推進 ・ 関係機関、専門家の連携 ・ 啓発活動やICT化による早期発見





基本目標 2 《 こどもと家庭の健康な生活の支援 》

基本施策	事業
① 子育ての喜びや悩みを分かち合える環境づくり	・様々な悩みや質問に対する相談体制の充実 ・「産後ケア」支援体制の充実 ・情報交換の場づくり ・こどもを産み育てることの意義や大切さの理解 ・萩市公式HP、萩市公式SNS等の活用 ・子育て応援ガイドブックや児童館だよりの活用
② 健やかな育ちを支援する取組	・親と子の健康づくり活動 ・健康教育の充実 ・心と体の健康づくりの推進 ・喫煙や薬物の有害性等について基礎知識の普及
③ 配慮が必要なこどもや家庭への支援	・発達障がいの早期発見・早期支援による就学、専門家の助言を受けられる仕組みの構築 ・障がい児の療育環境の整備と居場所づくり ・こどもの貧困への対応 ・ひとり親家庭の日常生活への支援 ・高等職業訓練促進給付金等の活用 ・自立支援教育訓練給付金の活用 ・児童扶養手当の支給 ・ひとり親家庭への医療費助成 ・母子父子寡婦福祉資金の貸付 ・総合支援学校児童クラブと放課後児童クラブへの障がい児の受入れ ・支援を必要とする家庭やこどもたちに対する施策の検討と支援人材の確保 ・児童虐待の防止とヤングケアラーへの支援 ・障がいの状況に応じた治療・療育・相談の実施 ・自立支援医療（育成医療）給付
④ 地域で進める食育活動	・学校給食の機会を活用した食に関する指導 ・保育園での食育訪問（保護者向けの食育指導） ・食育の場の提供・推進
⑤ 子育てや教育に関する経済的負担の軽減	・小・中学校給食費の無償化 ・小・中学校児童生徒に対する就学援助 ・児童手当の支給 ・誕生祝金の給付、多子世帯応援誕生祝金の給付 ・保育所等同時入所の第2子目以降の副食費の無償化 ・0～2歳児クラスの第2子以降の保育料の無償化 ・多子世帯子育て支援金の給付 ・乳幼児・こども医療費の助成 ・所得に応じた保育料の軽減措置の実施 ・妊婦のための支援給付

基本目標 3 《子育てと仕事の両立しやすい環境づくりの推進》

基本施策	事業
① 多様な保育ニーズに対応したサービスの提供	・延長・休日・24時間保育の実施 ・病児保育施設の確保 ・障がい児等の保育の推進 ・保育所入所の管外委託と受託 ・放課後児童クラブ施設整備 ・放課後児童クラブ給食サービスの実施 ・障がい児の日中の活動の場の確保 ・放課後等デイサービスによる支援
② 就業環境の確保	・ワーク・ライフ・バランスに関する啓発、継続就労が可能な職場環境づくり ・職場の理解と意識改革の推進

基本目標 4 《安心して子育てができる環境づくり》

基本施策	事業
① こどもの遊び場・居場所づくり	・居場所や遊び場づくりの推進
② 家庭・地域とともに守るこどもの安全	・スクールガード（学校安全ボランティア）制度の推進 ・こどもの携帯電話のフィルタリングの普及促進 ・情報モラル教室の実施 ・「こども110番」制度の普及等、青少年育成市民会議の活動
③ 地域との協働で進める次世代育成支援	・地域文化伝承活動への参加、地域高齢者との交流 ・主任児童委員及び児童委員による相談活動 ・地域組織活動団体（母親クラブ）の支援 ・子育て支援機関の連携 ・子育てに関するコーディネーターの支援 ・保育所、認定こども園における世代間交流や子育て行事の実施 ・公民館、保育所、学校等の施設による地域交流事業の活性化 ・放課後子ども教室 ・地域協育ネット ・わくわくキッズフェスタの開催 ・子育て応援講座・親学講座の開催 ・家庭教育支援チームの活動支援
④ 医療体制の充実	・小児科の救急医療・専門医療・入院医療等の充実 ・周産期医療提供体制の確保 ・小児救急医療電話相談（#8000）の活用 ・萩・阿武健康ダイヤル24の活用 ・不妊治療に関する費用の助成 ・妊婦アクセス等支援事業
⑤ こども・子育て支援機能強化に係る施設整備	・こどもたちが安全に過ごせる居場所の提供 ・児童公園等の施設・整備の充実
⑥ 子育て関連施設の環境整備	・キッズ・ゾーンや赤ちゃんの駅の普及促進育児サポート支援の充実 ・子育て関連施設の環境改善

6 子ども・子育て支援事業の 量の見込みと供給体制

子ども・子育て支援法第61条の規定に基づき、教育・保育及び地域子育て支援事業の提供体制の確保に関する計画について、国の「基本指針」に定められた教育・保育及び地域子育て支援事業の量の見込みに対する方策と実施時期について次のとおり定めます。



定期的な教育・保育事業

教育・保育施設及び地域型保育事業	算出対象 児童年齢
1号認定（認定こども園）〈専業主婦（夫）家庭、就労時間短家庭〉	3～5歳
2号認定 ②（認定こども園及び保育所）〈共働き家庭〉	3～5歳
3号認定 ③（認定こども園及び保育所＋地域型保育事業）〈共働き家庭〉	0歳・1歳・2歳

1号認定	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
需要量の見込み	52	49	47	45	44
確保方策	73	73	73	73	73

2号認定②	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
需要量の見込み	407	379	364	354	339
確保方策	441	441	441	441	441

3号認定③		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
需要量の見込み	2歳	128	119	115	113	110
	1歳	105	101	99	96	94
	0歳	87	85	83	82	80
	計	320	305	297	291	284
確保方策		344	344	344	344	344



地域子育て支援事業

地域子育て支援事業		令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
利用者支援事業	需要量の見込み	17	17	17	17	17
	確保方策	17	17	17	17	17
地域子育て支援 拠点事業(人/年)	需要量の見込み	1,375	1,293	1,249	1,220	1,179
	確保方策	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
妊婦健康診査 (人回/年)	需要量の見込み	1,876	1,834	1,778	1,750	1,722
	確保方策	1,876	1,834	1,778	1,750	1,722
乳児家庭全戸訪問事業 (人/年)	需要量の見込み	131	128	124	122	120
	確保方策	131	128	124	122	120
養育支援訪問事業 (人/年)	需要量の見込み	28	27	26	26	25
	確保方策	28	27	26	26	25
子育て短期支援事業 (人日/年)	需要量の見込み	2	2	2	2	2
	確保方策	2	2	2	2	2
ファミリー・サポート・ センター事業 (就学児)(人/年)	需要量の見込み	700	676	637	588	559
	確保方策	800	800	800	800	800
一時預かり事業 (幼稚園型)(人日/年)	需要量の見込み	2,092	1,944	1,869	1,818	1,742
	確保方策	3,480	3,480	3,480	3,480	3,480
一時預かり事業 (幼稚園型を除く)(人/年)	需要量の見込み	922	867	838	818	791
	確保方策	2,132	2,132	2,132	2,132	2,132
延長保育事業 (人/年)	需要量の見込み	201	189	183	179	173
	確保方策	300	300	300	300	300
病児保育事業 (人/年)	需要量の見込み	788	741	716	699	676
	確保方策	1,740	1,740	1,740	1,740	1,740
放課後児童健全育成事業 (人/年)	需要量の見込み	634	580	561	526	489
	確保方策	910	910	910	910	910
産後ケア事業 ※新規(人/年)	需要量の見込み	54	54	54	54	54
	確保方策	54	54	54	54	54
こども誰でも通園制度 ※新規(人/年)	需要量の見込み	0	61	53	52	51
	確保方策	0	61	53	52	51

7 計画の推進



計画の進行管理

(1) 計画の推進体制

本計画を推進するに当たって、各事業の担当課や各関係機関・民間団体等との連携の強化を図り、総合的かつ効率的に進めていくため、定期的に計画の点検・把握・見直し等を行いながらこども・子育て支援に取り組んでいきます。

(2) 点検・評価の実施

点検・評価に当たっては、毎年度、各事業の担当課と実施状況について確認を行い、進捗状況や実績を把握しPDCAサイクルに基づいて計画を進めていきます。

また、対象となるこども・子育て当事者の意見も聴取しながら施策の推進を図っていきます。

計画の評価指標

基本目標 1 《 こどもの権利を尊重し、健やかな成長を支える取組 》

指 標	現状値	令和11年度 目標値	出 典
すべてのこどもに「意見を表明する権利」があることについて知っているこどもの割合	24.8%	75.0%	こどもアンケート
「学校にいる時間が楽しい(通いたい)」こどもの割合	86.0%	現状より上昇	こどもアンケート
困っていることや不満なこと・良くないと思うことに対して、自分の意見を先生などに相談したこどもの割合	46.7%	70.0%	こどもアンケート

基本目標 2 《 こどもと家庭の健康な生活の支援 》

指 標	現状値	令和11年度 目標値	出 典
「萩市こども家庭支援センターHAGUの情報・相談事業(母子相談・栄養相談など)」を知っている保護者の割合	89.4%	現状より上昇	ニーズ調査 (就学前)
「乳幼児健康診査・乳幼児健康相談」を利用したことがある保護者の割合	80.3%	現状より上昇	ニーズ調査 (就学前)
ヤングケアラーについてことばも内容も知っているこどもの割合	41.3%	80.0%	こどもアンケート

基本目標 3 《 子育てと仕事の両立しやすい環境づくりの推進 》

指 標	現状値	令和11年度 目標値	出 典
ファミリー・サポート・センターの利用回数	令和6年度実績予定 1,140回	現状より上昇	第3期萩市総合戦略
児童クラブの希望受入れ率	100.0%	100.0%	第3期萩市総合戦略
働いている母親、父親の育児休業の取得割合	母: 82.1% 父: 9.3%	現状より上昇	ニーズ調査 (就学前)

基本目標

4

《安心して子育てができる環境づくり》

指 標	現 状 値	令和11年度 目標値	出 典
「安全・安心に暮らせるまち」と思っているこどもの割合	89.8%	現状より上昇	こどもアンケート
医療体制の充実の満足度	26.0%	現状より上昇	ニーズ調査 (就学前・小学生)
こどもの遊び場・居場所づくりの満足度	32.2%	50.0%	ニーズ調査 (就学前・小学生)



萩市こども計画 【概要版】

発行月 令和7年3月

発 行 萩市福祉部子育て支援課

〒758-8555 山口県萩市江向510番地

電話0838-25-3536